



東京都高齢者福祉施設協議会 介護PR動画「看取り東京」

# ある女性の生涯と高齢者福祉施設との関わり

東京都内の高齢者福祉施設で構成される東京都高齢者福祉施設協議会（以下、高齢協）。高齢協および各会員施設では、ご利用者への介護サービスに加え、社会参加のための集いの場、地域で暮らす高齢者に向けた認知症カフェ、介護予防や学習会など、人生100年時代を支えるさまざまな取り組みを行っています。

高齢協では介護の仕事の魅力を発信するべく、一人の女性を主人公として、その一生と介護への関わりを描いたPR動画を作成しました。動画の中では、生きることを最後まで支え、本人の意向をくみ取り、残された望みを実現する専門的なケア「看取り」についても紹介しています。本日の紙面では動画の一部を紹介します。

動画「看取り東京」はこちらからご視聴いただけます



フルver



ショートver

東京都高齢者福祉施設協議会とは？

東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です。（会員数約1,200施設・事業所）

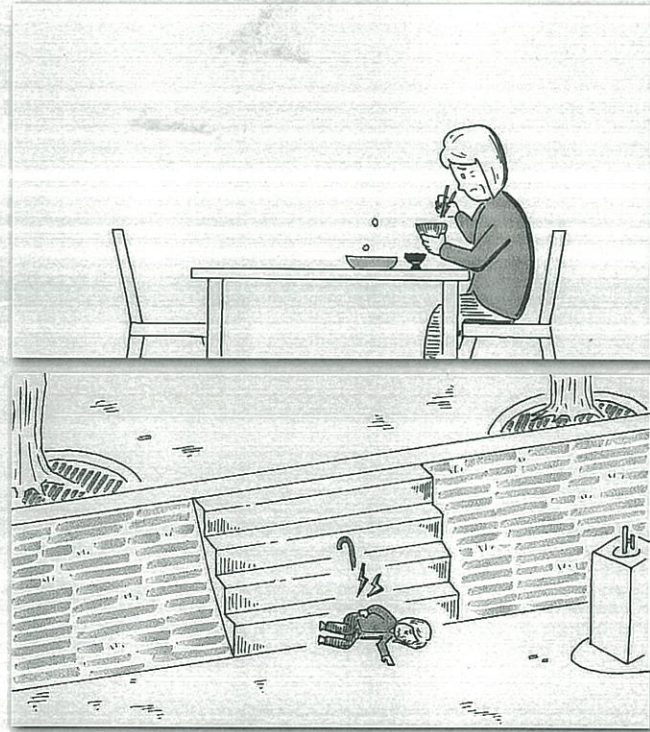


東京都高齢者福祉施設協議会  
マスコットキャラクター「アクティブル」

企画・制作／東京新聞広告局

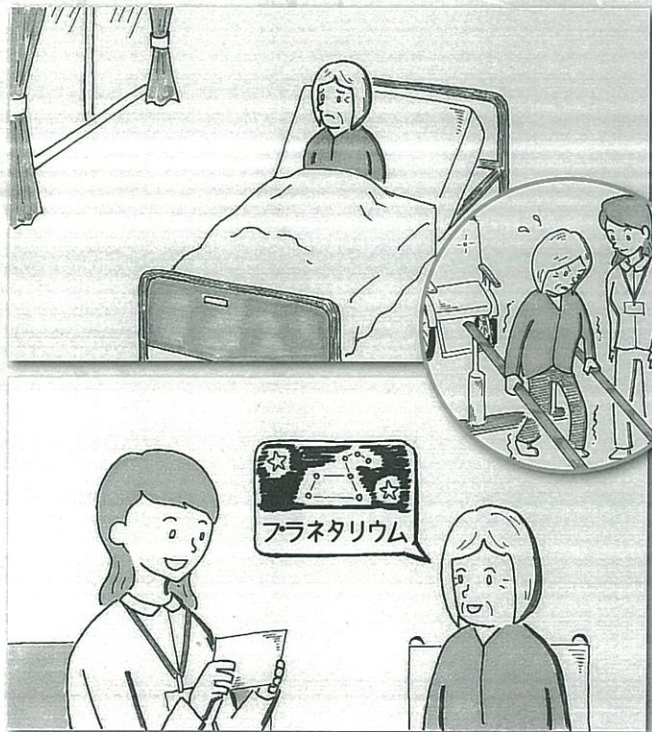
## 高齢者福祉施設への入所

前半部分では、結婚、出産、孫の誕生などが描かれます。そして、夫が先立ち、一人暮らしとなり寂しさを感じる中、外出中に転倒し骨折してしまいます。要介護状態となり、特別養護老人ホームへ入所します。



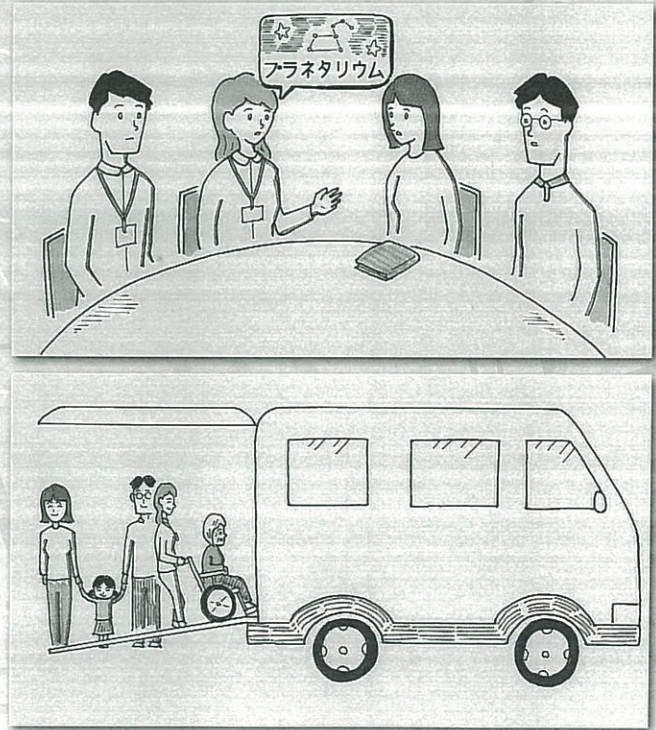
## 支えられる日々

入所当初、主人公は落ち込んでしまいます。しかし、介護職員との関わり、他の入居されている方との交流やレクリエーションにより、次第に明るさを取り戻していきます。リハビリテーションにも取り組んでいます。



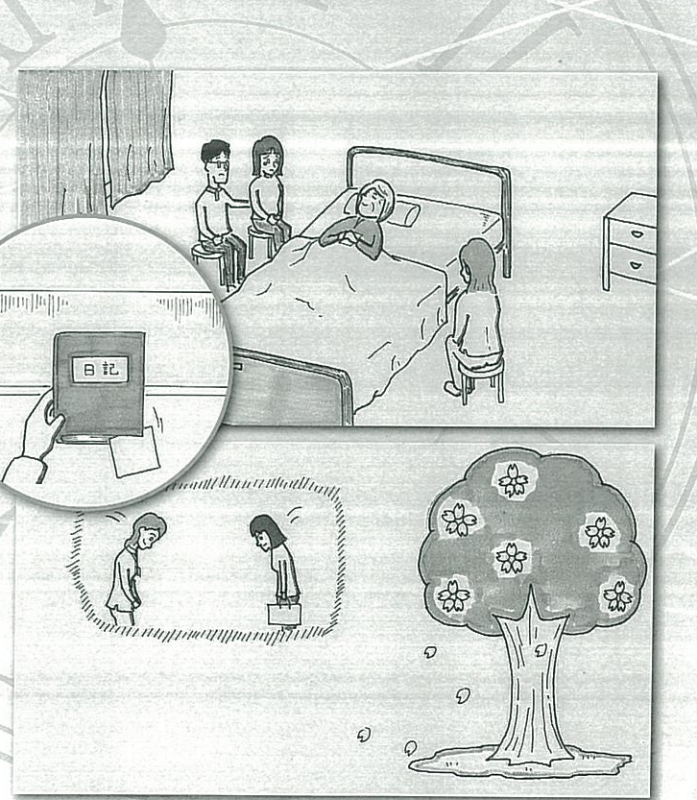
## 家族との最後の外出

お別れのときが近づき、次第に元気がなくなってきます。残された時間を充実させようと、家族と施設職員で話し合い、「看取り」の一環として、職員は想い出のプラネタリウムへ外出することを提案。娘夫婦と孫娘と共に、職員の介助を受けながらお出かけし、楽しい時間を過ごしながら人生を振り返ります。



## 感謝の気持ちをつないで

最期の時を迎えます。部屋に残された日記には、お世話になった介護職員の似顔絵と感謝のメッセージが挟まれていました。職員は感動し涙します。家族と職員が互いに感謝しながら、入居されている方と介護職員の生活は続いていきます。



HP 東京都高齢者福祉施設協議会



<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/>



アクティブル @TokyoKourei



高齢協会長 @koureiky



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 @tokyokourei



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 koureiky



YouTube

